

Ⅲ 資料編

平成26年度

知的障害特別支援学校高等部における作業学習班等一覧

平成27年3月現在

学校名	作業学習班名（主な作業学習製品等）	アンテナショップ等 による販売
比 内	木 工（テーブル、曲げ皿）	○常設 ・ 陽気な母さんの店、NOSHO館、 ハンドメイドショップ エヌズルーム（大館市） ○定期（月 1） ・ ハチ公cafe（大館市）
	農園芸（水稲、野菜、花、食品加工：小豆缶詰）	
	陶 芸（皿、カップ）	
	縫 製（ティッシュボックスカバー、コースター）	
	総合サービス（清掃、カフェ）	
かづの	木 工（プランターカバー、ヒバ製品）	○常設 ・ 花の輪市場、かづのふるさと学会、 多世代交流スペース「どまっこ」（鹿角市）
	農園芸（大豆、りんご、花、食品加工：ジュース）	
	陶 芸（皿、カップ）	
	縫 工（ストラップ、ガーゼマスク）	
	ビルクリーニング（清掃）	
たかのす	木 工（プランターカバー、菓子置き）	○常設 ・ 道の駅たかのす ・ 社の手しごとnekkō（北秋田市）
	農園芸：合同（野菜、食品加工：漬け物・ししとう味噌・ジュース）	
	縫 製（チョークバッグ、コードストラップ）	
能 代	木 工（コースター、菓子器）	○常設 ・ 今出川珈琲館、夢工房咲く咲く、平山はかり店 （能代市） ○定期（月 1） ・ 「木曜カフェ」 能代市役所、今出川珈琲館（能代市）
	農園芸（水稲、果樹、野菜、花、むしろ編み、食品加工：梨、米、りんご）	
	陶 芸（皿、小鉢）	
	縫製・クラフト（トートバッグ、がま口）	
	総合サービス（清掃、カフェ）	
	*合同作業～全員（環境整備、除雪）	
天王みどり	木 工（ベンチ、ラック、いす）	○定期（週 1） ・ 「喫茶みどりの風」（県総合教育センター） ○定期（月 1） ・ 天王グリーンランド食堂くらら（湯上市）
	農園芸（野菜、花、ラベンダーポプリ）	
	食品加工（ジャム、みそ、カフェ）	
	縫 製（コースター、バッグ、刺し子）	
	ビルクリーニング（清掃）	
	リサイクル（ペットボトル、空き缶、リサイクルビンクッション）	
栗 田	木 工（万能台）	○常設 ・ ヤマザキデイリー新屋田尻沢店（秋田市） ○常設（3～11月） ・ 大森山動物園「森のこまち」（秋田市） ○定期（週 1） ・ 「喫茶くりの木（ショップくりた）」（校内）
	陶 芸（皿、小鉢）	
	手 芸（ランチバッグ、雑巾、香り袋）	
	紙 工（油処理用品、一筆箋）	
	レザー工芸（トートバッグ、キーホルダー、ネームホルダー）	
	ガラス工芸（コップ、タッパー）	
	セメント加工（擬木、かまど）	
	エコ・リサイクル（ペットボトル、空き缶）	
	物流サービス	
	・ フードサービス（食品加工：野菜・りんごチップ）	
	・ ショップくりた（アンテナショップ納品・補充、製品管理）	
	・ オフィスくりた（文書印刷、発送準備、シール印刷、名刺）	
	・ ファームくりた（野菜、花）	

ゆり	木 工（ままごとキッチン）		○常設 ・ 県心身障害者コロニー生産品販売所「歩人」 (由利本荘市) ○定期（月 1） ・ 由利本荘市文化交流館カダーレ内「ゆりぶらざ」
	農園芸（野菜、花、いちじく、食品加工：ジャム、みそ）		
	陶 芸（皿、小鉢、花瓶）		
	家 庭（ビーズアクセサリー、布小物）		
	手工芸（メモ帳・メモ帳スタンド）		
	事務・デザイン（学校行事ポスター、名刺、カード、はがき）		
	ビルクリーニング（清掃、ワックスがけ）		
	リサイクル（ペットボトル、空き缶）		
大 曲	木 工（秋田杉・樺コースター、スマホスタンド）		○常設 ・ 湖畔の杜レストランORAE（仙北市） ・ 秋田景員（秋田市）
	農 耕（野菜、花、食品加工：漬物、にんじんジャム、除雪）		
	造園土木（平板、庭園造り：竹塀、箆・管理、花壇・かまど設置、除雪）		
	陶 芸（皿、マグ、湯飲み、ぐい飲み）		
	縫 製（縫製：ポーチ、袋、バッグ 染色：花き草木染め等手拭い）		
	織 物（布織り：コースター、マルチマット）		
	ビルクリーニング（清掃、ワックスがけ、除雪）		
横 手	「かぜのつば社」（模擬会社）		○常設 ・ さくら庵（秋田ふるさと村） ・ スーパーモラルッキー（横手市）
	ネイチャー リエイト部	木 工（菓子器、盆）	
		陶 芸（丸小皿、小判皿、スープ皿）	
	ハンドクラ フト部	縫 製（さをり織り：バッグ）	
		レザークラフト（キーケース、メガネケース）	
	エコクリー ン部	農 耕（野菜、しいたけ加工、清掃・除雪）	
		紙 工（紙漉：ポチ袋、メモ帳）	
事務局（ホームページ作成、研修会企画、販売準備、販売）			
稲 川	工 芸		○常設 ・ イオンスーパーセンター湯沢店 ・ ビフレ湯沢店
	・ 木地作り（マグネットバー、盆）		
	・ カシュー塗り（盆、コースター）		
	農 耕（野菜、食品加工：いぶりがっこ、ジャム）		
	染 め（布染色：マフラー 縫製：エコバッグ）		
	レザークラフト（革加工、染色：カードケース、マウスパット）		
	エコワーク（エコポット、エコバッグ）		
附 属	陶 芸（皿、湯飲み、箸置き）		
	ハンドクラフト（さをり織り：布小物）		
	清 掃（校内外清掃、秋大生協アパート清掃）		
	リサイクル（ペットボトル、空き缶）		

各校の作業種は、木工、農園芸、陶芸、縫製、ビルクリーニングの他、地域や学校、生徒の実態に応じて設定されています。また、地域の素材や人材、環境を生かした製品等の開発も多く、学校で行われています。さらに、模擬会社の設置による組織化、班内グループの設定、複数の班による共同製品開発などの工夫も見られます。ほとんどの学校で、アンテナショップ等による常時・定期の販売を行っており、生徒の製作意欲につながっています。

様々な取組や工夫が、生徒の働く力に一層つながるよう期待しています。



【附 属】
手提げバッグ（さをり織り）

平成25年度秋田県立特別支援学校 作業学習の実践

～特別支援教育課便り「サポート」掲載 「各校ものづくり探訪1～15」～
(平成25年5月～平成26年3月)

各校ものづくり探訪 1 ～比内養護学校かづの分校編～



【中学部作業学習木工班】

○製品：秋田杉の器（汁茶碗、湯飲み等）

～木目の美しさを生かした、ぬくもりのある製品～

○特徴：指導者が木工電動ドリルと補助具等を工夫して、「オリジナル木工旋盤」を作り、中学部作業学習としての完成度が高い器作りを進めています。実用向きに安全性と素材を生かす「木固め塗料」も使用しており、教材研究の熱心さを強く感じました。

○今後の期待：

完成度と量産、独自性に向けた器の形の工夫（改良）、鹿角市の特産物とのコラボ、ネーミング

各校ものづくり探訪 2 ～大曲養護学校編～



【高等部作業学習 造園土木班】

造園土木班では、コンクリート成型のほか、実際の造園に関連した作業内容を導入し、さらに発展した活動を展開中です。

○造園：和風庭園「曲養庭」～毎年改造しています～

（平板、竹編塀、^{かけひ}笥、灯籠、植木、苔はり、せん定、囲い塀など）

玄関を入り、正面の全面ガラス張り戸から見える庭。入り口階段を降りると、そこは落ち着いたある「和」の空間。手作りの庭製品と紅葉や松、ゆり、あじさいなど四季を感じさせる花きとともに、苔の味わいも格別です。

○活用：癒やしの空間（眺望、休憩）、茶話会（交流活動）

○今後の期待：校地内美化・整備、地域住民の庭手入れ、竹編細工

各校ものづくり探訪 3 ～稲川養護学校編～

【高等部作業学習 工芸班～漆工の試み～】

職員が地場産業の漆器の技を、専門の技術者から年間を通じて習得し、自校特製品づくりをするなど、新たな伝統工芸に挑戦しています。

カシュー塗料による塗りつぶし鏡面仕上げ、透明（着色）仕上げなど、色合いやデザイン、工程を工夫しながら、コースター、皿、花台、菓子置きなど様々な製品を開発中です。ここでも、担当者のものづくりに対する自己研鑽の熱意を感じました。

○今後の期待：

材料の目止めと仕上げ塗料の工夫、金箔模様・班名印付け、拭き漆技法の導入。



各校ものづくり探訪 4 ～天王みどり学園編～

【高等部作業学習 食品加工班】

平成16年度、地元りんご農家から頂いたりんごを利用し、ジャム作りが始まりました。県内特別支援学校の本格的な食品加工作業の草分けで、現在も継続して取り組んでいます。

りんごの芯とり機、皮むき器、みじん切り、炒め煮などの工程を分担作業で行い、隣接の県総合教育センターや夏祭り等での販売や注文販売を展開中です。今年度は、新製品のキウイジャムに挑戦しています。

特別支援学校の食品加工では、県内各地域の農業6次産業化における取組、高等学校の農業クラブ等の実践が大変参考になります。比内養護学校のあずき、能代養護学校のなし、ゆり養護学校のジャム、大曲養護学校の丸なすふかし漬けと各種ジャム、横手養護学校のしいたけ、稲川養護学校のいぶりがっこなどの食品加工の充実発展にも期待します。

[要点：作る→おいしさ→特徴づくり→販売の工夫と量産]

○今後の期待：

商品名とラベル、特色ある味付け、材料とびんの仕入れ、びんの再利用



各校ものづくり探訪 5 ～比内養護学校たかのす分校編～



【高等部作業学習（農作業）、中学部作業学習（紙工）】

福祉施設「吉野の郷」敷地内の分校は、豊かな土壌に囲まれ、野菜作りが盛んですが、伝統の中屋敷そば作りは休止中でした。しかし、施設から借用した広大な畑を利用して、大量の「赤しそ」栽培に取り組んでいました。収穫時の販売のほか、食品加工も考案中ということでした。



新聞報道でも紹介されましたが、中学部の紙工では、通学利用の路線バス会社へ「お守り」を製作して贈呈しました。今後は、ひと味工夫した「ポチぶくろ」の製作に取り組む予定ということです。

探訪時に、高等部木工班担当と作業学習製品の懇談、提案をしました。試行・実現に期待しています。

○今後の期待：「赤しそ」～夏ばて防止ジュース、乾燥ふりかけ「ゆかり」、
品名工夫

「ポチぶくろ」～デザインや素材、水引、販売案内の工夫、再利用

各校ものづくり探訪 6 ～栗田養護学校編～



【高等部作業学習 木工班】

「くりた万能台」の製作に取り組んでいました。

ルーターを使った面取りや組み木の精度、木ダボの使用により、昨年度の同製品を大幅に改良したそうです。整理の行き届いた作業学習室と、前向きに製品開発する姿勢を強く感じました。県内では都市部の学校であり、材料の入手については地場産業を生かすことが難しいことから、現代的な製品づくりと多様な注文販売（趣味の団体や福祉施設等からの受注）が特色として考えられます。

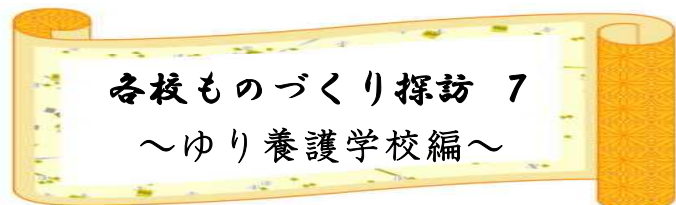
○今後の期待：用途の明確化、同型異種（目的別）、洋風小物、ルーターの工夫

【高等部作業学習 ガラス工芸班】



県内特別支援学校第1号の伝統的なガラス工芸班であり、今年度から作業学習製品のマスコットマーク「クリタン」のブラスト（磨りガラス状）や色模様付けのほか、他校からの受注、喫茶「くりの木」で使用するオリジナルグラスの製作、飲食店での使用依頼を考えているそうです。担当者の熱心な教材研究、試行が伝わってきました。

○今後の期待：模様・デザインの工夫、目的別受注、近隣の秋田公立美術大学とのコラボレーション



【高等部作業学習 農園芸班】

例年の野菜・花づくりのほか、西目高等学校や企業の協力を得て、地域の環境美化活動にも力を入れていました。新たな取組としては、昨年度から、醸造元や事業所の指導と協力によるみそづくり、地元伝統野菜のカナブ栽培、今年度はイチジク栽培とその加工に挑戦する予定であり、担当者の地元地域開拓と食品加工への情熱を感じました。



○今後の期待：生産量増（作業量増）、地元特産物の活用拡充、校外環境整備委託

【高等部作業学習 事務・広告班】



地元地域の四季折々の自然や名所、校地内の花などを写真印刷したポストカード作りは、写真素材のよさと正確な仕上げで、店舗販売での人気の高さを実感しました。そのほか、クリアファイルのデザインや校内掲示物の点検作業、生徒のアイデアや意見をもとにした新製品の企画も行っているそうです。

○今後の期待：各種催し物贈呈品受注、関連製品、カタログ、写真出展、班名工夫

各校ものづくり探訪 8 ～横手養護学校編～

【高等部作業学習 新たな組織「かぜのつば社」】



今年度から7つの班別作業班の連携組織として、各班長の会議や企画を行う「かぜのつば社」を結成し、校内外における各作業学習製品の展示や販売企画、各作業班の進捗状況、意見交換などを行い、作業学習並びに製品・展示の質の向上に力を入れていました。製品の梱包や販売サービスを主とする作業班は、他校にもありますが、全作業班が組織として取り組む活動の導入は、実践的作業学習としての効果も大きいと思いました。



【高等部作業学習 レザークラフト班】

本・ノートなどのカバーやコースターのほか、地元バイク店のお得意様贈呈用キーホルダーを受注生産していました。学校のオリジナルではなく、企業からの指定された規格やデザインに対応することにより、精度や納期などの実践的な生産活動ができ、作業意欲にもつながっているようです。



○今後の期待：受注先や受注製品の拡大（企業・支援団体・一般向け等の名称・マーク入れ、記念品、バッジやワッペン）

各校ものづくり探訪 9 ～比内養護学校編～

【高等部作業学習 農園芸班～加工品作り】

開校以来の伝統作業種として、稲作、野菜作り、花壇のほか、食品加工にも取り組んでおり、5年前から小豆（普通小豆）を植え、脱穀後に加工業者へ依頼し、「達子森の小豆」缶詰を製造販売しています。ネーミングだけでなく、味もよく大好評です。そのほか、豆腐も限定製造しています。また、全校田植え・稲刈りで収穫した米は、「天日干し」でこだわりの味だそうです。広大な畑は、丁寧かつ美しく整備されており、日常の作業学習の充実が伺えます。

○今後の期待：小豆種の選定、自校製餅で加工（あんこもち）、米菓子

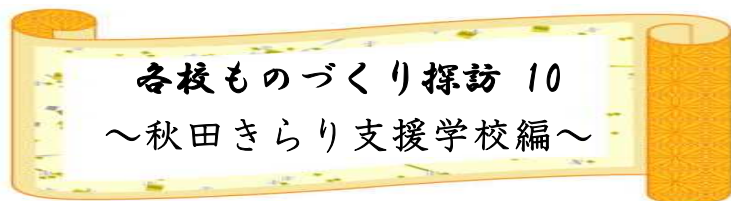


【高等部作業学習 縫製班～さき織りとミシンがけ】



さき織りを合わせた布製のトートバッグを製作中でした。丁寧で正確な仕上げのほか、織り模様のデザインのよさもありました。また、不要ロックミシンを改造した布切りにも感心しました。

○今後の期待：布の仕入れ（企業協力）、作業量



【高等部作業学習 紙工班】

紙工班「きらりワークス」では、メッセージカードを作っており、様々なデザイン紙やマーブル模様の明るく、かわいらしい製品づくりに取り組んでいました。作業量よりも、手指の動きや生徒に応じた作業分担、丁寧さをねらいに、「できること」を大切にしていました。

○今後の期待：注文カード（特注）、各種用途別カード



【高等部作業学習（合同）】



自校の教員が学習指導上使いやすい日誌「ダイアリーノート」の製作を、季節限定で、合同作業として行っています。週予定や時間割の欄があり、人気の製品になっているそうです。表紙は、児童生徒の美術展入賞作品などを、豊学校の協力を得て、カラー印刷で製本しています。様式の向上も計画しているそうです。

○今後の期待：全県の特別支援学校教職員向けの改良（全県共通行事表、メモ欄などの付加）と注文

各校ものづくり探訪 11 ～能代養護学校編～

【高等部作業学習 農園芸班】

広大な田畑の中で、旧能代農業高等学校から引き継いだ県内唯一の果樹作業があり、りんごと梨、ぶどうの栽培に取り組んでいます。地元特産である梨は、赤なしの長十郎、幸水、新星、新興の4種で、梨缶の製造も行っています。味だけでなく、缶名「なしゅマロ缶」とラベルデザインも生徒の提案で工夫されており、今年は360缶できたそうです。その他、稲作の加工品として「おかゆ」もありました。

○今後の期待：日常的な実習としての果樹維持管理、地域農家の手伝い

梨缶の付加価値（各品種名、味比べセット）

工程の工夫と加工実習、流通活動の導入



【高等部作業学習 木工班】

地場産業の秋田杉の間伐材活用に挑戦中であり、釘なしの本棚製作に取り組んでいました。今後は、杉材の美しさである杢目板を活用した小物作りとして、ブラスター加工を加えたコースターも考えているそうです。

○今後の期待：「木の都」としての杉材製品の開発と「白神山地」のデザイン融合

☆陶芸班の新製品開発にも注目です。

各校ものづくり探訪 12 ～大曲養護学校せんぼく分教室編～

【中学部1・2年作業学習 紙（和紙）すき作業】

今年度開設したせんぼく分教室の中学部は、年間を通して、地域の人材や施設、土地を活用させてもらいながら農園芸や清掃、陶芸など、様々な作業に取り組んでいます。中でも、大曲養護学校で昨年度から始めた「紙（和紙）すき作業」は、仙北市西木・鎌足地区で復活した伝統和紙を導入したものであり、地元工芸の活用として、分教室が本格的に取り入れました。鎌足楮（こうぞ）は艶、色合いのほか、薄く丈夫なことが特徴です。分教室の主な製品として、一筆箋「ふわり」やランプシェード「ゆらり」があります。現在、観光イベントの景品としての依頼もきているそうです。中学部生徒としての完成度、和風柄

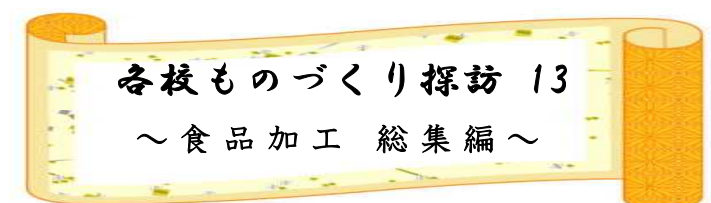


のセンスのよさも感じられました。

○今後の期待：一筆箋の模様・デザインの工夫（角館の四季セットなど）

ランプシェードの品名検討（ランプシェード→和紙あんどん）

ランプシェードの枠の工夫と安価なコードレス電池式仕様



【校地内農産物・企業協力での食品加工】

農業の6次産業化のように、農産物の収穫・調理・販売の他、校内や営農家、企業の協力による食品加工と販売に取り組む学校が増えてきました。中には味や色合いも格別で、市販商品よりも美味との評価を受け、人気の食品もありました。そして、品名やラベルにも一工夫あり、販売効果がありました。

各校の食品・製品名等と今後の期待

学 校 名	食品・製品名	原料	今後の期待
比内養護学校	達子森の小豆（缶）、豚キムチたんぽ	自校産	あんこ餅
比内養護学校 たかのす分校	若鷹のしそジュース（瓶）	自校産	量産と販路
能代養護学校	なしゅマロカン缶（梨：缶）、おかゆ（缶）	自校産	他の果樹加工品
天王みどり学園	りんごジャム、キウイジャム（瓶）	購入	地元りんご活用
ゆり養護学校	みそ（企業協力）、カナカブ漬けなど	地域・自校産	いちじく加工
大曲養護学校	丸茄子ふかし漬け、しその実漬けなど	自校産	販売拡大
大曲養護学校 寄宿舎	「けやき とくベリージャム」 （ブルーベリー：瓶）	自校産	栽培拡大
横手養護学校	乾燥しいたけ、しいたけ粉末	自校産	果樹、企業協力
稲川養護学校	駒形りんごジャム（瓶）、いぶりがっこ	地域・自校産	地域協力

各校ものづくり探訪 14 ～木工・陶芸総集編～



【製品の質の向上と作業量の確保】

知的障害特別支援学校の中学部と高等部では、作業種として木工と陶芸が多く取り入れられています。木工では地域の地場産業（木材業や森林組合）との連携協力により、その地域の材料（秋田杉、ヒバ）を利用した質のよい小物づくりと、安価な外国材を購入した簡易家具づくりの二通りが見られました。陶芸では、たたら成形や手びねりによる各種皿・器づくりが主流ですが、流し込み技法による器づくりも広がり、用途の明確な規格製品や量産の他、色合いやデザインに自校の特色が出てきました。

各校の製品名と今後の期待

学 校 名	製 品 名	今後の期待
比内養護学校	ガーデンテーブル：秋田杉	イベント用テーブル
	食器（皿、カップ）	イベント用食器（マーク入）
か づ の 分 校	杉の汁茶碗・カップ、ヒバのまな板	小器量産、贈答品受注
	食器（皿、カップ）	形状の工夫
たかのす分校	打楽器「若鷹カホン」	塗装、保育所演奏・受注
能代養護学校	本棚～杉間伐材利用	天杉柾目木っ端利用製品
	食器（皿、カップ）	カップ：流し込み規格品
天王みどり学園	いす、ベンチ、ラック	作業量確保
	食器（皿、カップ）、箸置き	「喫茶 みどりの風」活用食器
栗田養護学校	万能台	サンドブラスト活用小物
	食器（皿、カップ）	「喫茶 くりの木」活用食器
ゆり養護学校	いす、ベンチ、ラック	地場材料の活用
	食器、花瓶	作業量確保の規格品
大曲養護学校	秋田杉・檜・樺コースター（2種）	各種トリマ加工
	ビアマグ2種、各種皿、蕎麦猪口	販売受注拡大、工芸展参加
横手養護学校	一輪挿し、お盆、ボックス、ラック	自校特有製品の開発
	カレー皿	横手焼きそば用デザイン皿
稲川養護学校	漆工：皿、台、コースター	塗りと模様付けの工夫
	食器（皿、カップ）	稲庭うどん猪口・皿

各校とも、製品の質とデザイン感覚が年々向上し、作業学習としての「働く力」をより高めているとともに、地域販売や事業所からの受注などを通して、流通を学ぶ機会にもなっています。また、地場産業や伝統工芸、高等学校との連携を含め、地域理解の促進にもつながっています。今後も、生徒の頑張りとは担当職員の教材研究に期待します。

各校ものづくり探訪 15

～ 最 終 編 ～



【製品（商品）の名札と展示の工夫に期待】

製品の特性や素材、用途、特産などにちなみ、オリジナルの品名を付けている作業班や、展示の際の名札や展示の仕方に工夫が見られる学校があります。例えば、狭いテーブルの使用では、陶器の立体物や紙・布類を重ねた場合のよい見せ方、製品をできるだけ多く見せる並べ方などの工夫があり、名札と展示・陳列用具の活用も重要になります。市販品を利用するだけでなく、各作業班の材料・素材を使って作ることもできますし、木工班や紙工班が請け負って名札や用具を作ることでもあります。

また、地域での展示や販売の際に、生徒自身が準備からレイアウトまで行っている学校があります。これは大変よい作業活動であり、スーパーや製造業などの実習先・就職先で求められる働く力の一つになります。

今年度は、県内各特別支援学校の作業学習製品について訪ね回り、特色ある製品や加工品を中心に紹介してきました。よい品を作ることやよい作業をすることにより「働く力」の技が向上し、買いたい・使いたい製品づくりや販売店舗の拡充につながってきたと思います。今後も、地元地域との関わりや地場産業、伝統工芸を活用した作業学習が発展することを期待しています。



各校ものづくり探訪 1～15 紹介校・学部等

No.	学 校 名	学部・作業班名等
1	比内養護学校かづの分校	中学部・木工班
2	大曲養護学校	高等部・造園土木班
3	稲川養護学校	高等部・工芸班
4	天王みどり学園	高等部・食品加工班
5	比内養護学校たかのす分校	中学部・紙工 高等部・農作業
6	栗田養護学校	高等部・木工班、ガラス工芸班
7	ゆり養護学校	高等部・農園芸班、事務・広告班
8	横手養護学校	高等部・組織「かぜのつば社」、レザークラフト班
9	比内養護学校	高等部・農園芸班、縫製班
10	秋田きらり支援学校	高等部・紙工班、合同
11	能代養護学校	高等部・農園芸班、木工班
12	大曲養護学校せんぼく分教室	中学部・紙（和紙）すき作業
13	食品加工総集編	
14	木工・陶芸総集編	
15	最 終 編	

平成25年度

特別支援学校作業学習製品クオリティアップ研修会

【県南地区（8月6日：大曲養護学校）】

○講師 秋田公立美術大学ものづくりデザイン専攻 助教 安藤 郁子 氏

○主な助言内容

- ・ 日常の生活の中で繰り返し使う物であることが前提になる。
- ・ シンプルで使いやすく、用途が分かりやすいことが大事であり、製品名も重要になる。
- ・ 製品の質を保った上で生徒の文字や絵を活用するなど、付加価値を考えたい。
- ・ 製品の使用場面を想像できるような、立体感のある展示の仕方も大事である。



【県央地区（8月7日：栗田養護学校）】

○講師 秋田公立美術大学社会貢献センター 教授 五十嵐 潤 氏

○主な助言内容

- ・ 生活用品として使用する物を前提に、売れる物を作ることが理解啓発にもつながる。
- ・ 資源や環境、生徒の実態など限られた条件の中で価値ある物を作ること。
- ・ 学校間の情報交換をもっと行い、材料の供給を含めた製品の共同開発があつてよい。
- ・ 製品への助言：買う側の視点で商品開発する、用途を明確にする、品揃えを豊富にする、男性を意識した商品を開発するなど。

【県北地区（8月9日：能代養護学校）】

○講師 秋田公立美術大学社会貢献センター 教授 五十嵐 潤 氏

○主な助言内容

- ・ 教師自身が製品を実際の生活で使用し、収納も含めて実感したことを改善につなげることが、販売の前提になる。
- ・ エコをテーマにするのであれば、使用する素材や色も統一すること。
- ・ 包装に貼るシールに生徒のメッセージを入れること。
- ・ 価格に合った製品づくりをすること。



平成25年度

特別支援学校における職業教育・就業促進事業より

「教育あきた」掲載

事業紹介

平成25年度特別支援学校における 職業教育・就業促進事業報告

特別支援学校における職業教育の質の向上と、就業促進を図ることをねらい、「平成25年度特別支援学校における職業教育・就業促進事業」を実施しています。その中から主な取組について紹介します。



生徒たちの「働きたい」を応援してください
技を磨く～基準通りに成形する。(大曲養護学校高等部木工班)

育む

事業所内作業学習

知的障害特別支援学校高等部の教育課程の中核をなす「作業学習」を、教師引率のもと小集団で事業所に出向き、現場で作業をさせていただいています。

大曲養護学校では、「営農実習」と称して、年間を通して近隣の営農家であるナチュラルスタンスクラブで、播種から栽培、食品加工、販売までの一連の作業に継続して取り組んでいます。広大な畑で、商品として出荷する農作物を量産する経験を通して、働く厳しさと喜び、自ら取り組む姿勢、体力や技能の高まりなど、確かな成長が認められます。



大曲養護学校「営農実習」

長期・定期実習

「職場実習（現場実習）」は、作業学習を中心とした学習のまとめや力試し、その応用・発展の機会として、各校概ね年2回、各2～3週間実施しています。その他「長期・定期実習」は、連続した期間ではなく、曜日を定めるなどして長期間行う形の職場実習です。実習先と学校との綿密な連携のもと、実習の成果や課題を確認しながら、実践的な技能や態度を養うことをねらっています。



能代養護学校「長期・定期実習」

支える

「職場実習サポーター」による職場実習支援

障害の特性や一定の職種に関して専門的な知識や技術を有する方々に、「職場実習サポーター」として実習支援に当たっていただいています。今年度は13名の職場実習サポーターにより、のべ160日に渡る支援を実施しました。この取組により、生徒も実習先も安心して実習を開始することができ、また、専門的な指導や個に応じた細やかな支援により、実習の成果が上がっています。

啓発する

「秋田県特別支援学校職業教育フェスティバル」開催
 「秋田県特別支援学校職業教育フェア」（県北・県南）開催

特別支援学校における職業教育の取組や生徒の職業技能等について、企業関係者をはじめ、広く県民の皆様を知っていただく機会として実施しました。秋田県障害者技能競技大会（職業教育フェアにおいては、秋田県特別支援学校技能競技会「錬成会」）での真剣な姿をご覧くださいとともに、作業学習製品の販売や手作り体験コーナー、喫茶等の販売を通して、生徒たちと触れ合っていました。

各事業の開催にあたり、企画から当日の運営まで地域の企業団体や関係機関の多大なご協力をいただきました。今年度、地域行事の中で地域の一員として活動できたことは大きな成果となりました。



日頃培った職業技能を競う
喫茶サービス競技の様子

「アンテナショップ」の開設～作業学習製品や喫茶販売（常設又は定期開催のみ掲載）

学 校 名	開 設 場 所	開店の頻度	備 考
比内養護学校	ハチ公cafe（大館市）	月1～2回	喫茶
	陽気な母さんの店（大館市）	常 設	野菜、木製品、陶器等
比内養護学校 たかのす分校	杜の手しごとnekkō（北秋田市）	常 設	袋製品、手芸品等
能代養護学校	今出川珈琲館（能代市）	月1回	店名「木曜カフェ」、喫茶
天王みどり学園	県総合教育センター（潟上市）	週1回	店名「喫茶 みどりの風」、喫茶
栗田養護学校	大森山動物園 森のこまち（秋田市）	常 設	革製品、布製品等
	栗田養護学校（秋田市）	週1回	店名「喫茶 くりの木」、喫茶及び製品販売
ゆり養護学校	県心身障害者コロニー生産品販売所 はつと 歩人（由利本荘市）	常 設	陶器、ビーズ製品等
大曲養護学校	湖畔の杜レストランORAE（仙北市）	常 設	木製品、陶器、染め物等
横手養護学校	株マルシメ スーパーチールラッキー（横手市）	常 設	革製品、織物等
稲川養護学校	イオンスーパーセンター湯沢店	常 設	布・革製品、漆塗品等
	ビフレ湯沢店	常 設	布・革製品、漆塗品等

開拓する

本事業で3校に配置した「職業教育コーディネーター」が連日、職場開拓を行っています。今年度は高等部3年生の約40%が就職を希望しています（例年は約25～30%）。希望者全員の就職を目指し、これからも職場開拓に努めます。

平成25年11月末までの新規職場開拓状況

開拓数	実習受入可	雇用相談可
894事業所	456事業所	48事業所

生徒たちの「働きたい」を応援してください

問い合わせ先：教育庁特別支援教育課 TEL 018-860-5135



平成26年度

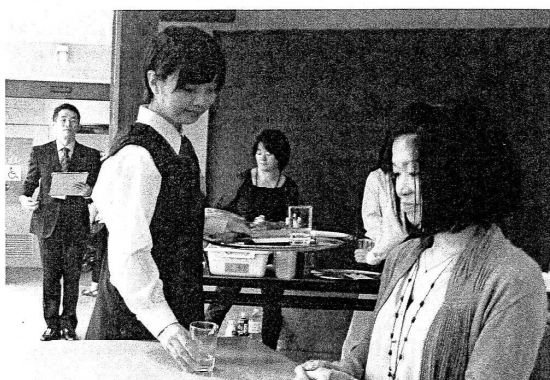
特別支援学校における職業教育・就業促進事業より

「教育あきた」掲載

事業紹介

平成26年度特別支援学校における 「職業教育・就業促進事業」

実践報告



心を込めて笑顔で接客
～職業教育フェア「技能競技会」喫茶サービス競技～

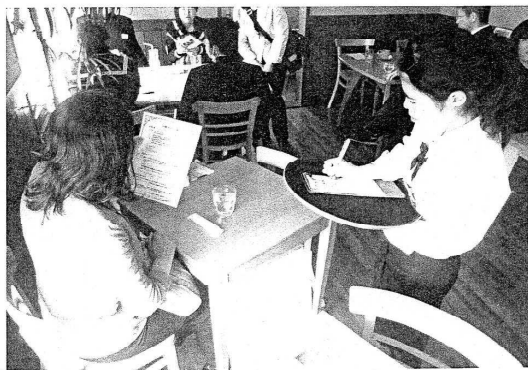
昨年度に引き続き、特別支援学校における職業教育の質の向上と就業促進を図ることをねらいに「職業教育・就業促進事業」を実施しています。

本稿では、その実践の一端を紹介します。

地域の協力で職業教育が充実!!

本事業では職業教育の質の向上を図るために、地域の一般事業所や専門機関、高等学校等から、職場実習受け入れや技術指導などの協力を得て多様な職業教育を実施しています。

その一環で行っている「営農実習」は、知的障害特別支援学校高等部の中心的な学習である「作業学習」のうち、農園芸作業を地域の営農家や果樹農家等で行うものです。実際に店舗に並ぶ品質の良い作物を大量につくることは、日頃の学習の成果を発揮する力試しとともに、「本物」を学ぶ貴重な機会となっています。中には、収穫した作物の加工や販売まで取り組む学校もあります。学習に臨む生徒たちは、皆真剣な表情で働くことの「厳しさ」と「喜び」を学び、確かな力を身に付けています。



今出川珈琲館(能代市)休業日の店舗で
カフェを開店 【能代養護学校】



高橋果樹園(潟上市)で受粉技術を学ぶ
【大土みどり学園】

「営農実習」及び「営農体験学習」の実践状況

学 校 名	実習先事業所名	内 容	頻 度
比内養護学校	陽気な母さんの店	農作業	月1回
比内養護学校かづの分校	農事組合法人したかわら	果樹作業等	週1回
比内養護学校たかのす分校	株式会社しらかみファーマーズ	農作業等	年5回
天王みどり学園	高橋果樹園	果樹作業	年5回
栗田養護学校	農事組合法人白華の郷	農作業等	年5回
大曲養護学校	株式会社ナチュラルスタンスクラブ	農作業・加工・販売	年40回
横手養護学校	株式会社 営与	農作業	月2回
稲川養護学校	高橋昭一氏、株式会社雄勝野きむらや	農作業、食品加工	週2回



「国民文化祭応援プロジェクト」として
街を花で飾る 【ゆり養護学校】



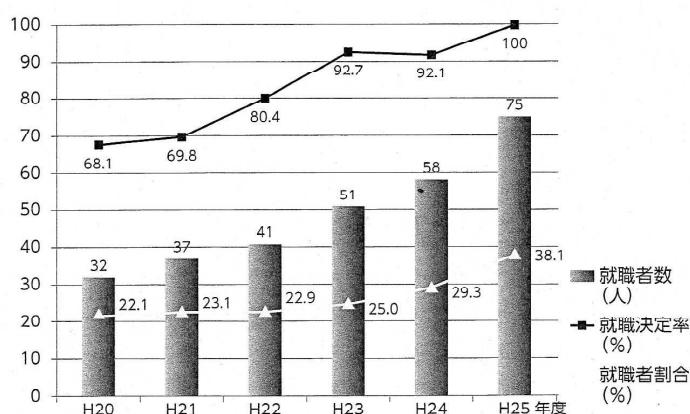
ナチュラルスタンスクラブ(大仙市)でマスク
メロンの収穫作業にあたる 【大曲養護学校】

就職者数の増加と就職希望者の就職率の伸びが顕著です

本事業のもう一つの柱は
就業促進です。

各校の努力と、職業教育
コーディネーターによる職
場開拓、職場実習サポー
ターによる実習支援、関係
機関からの支援により、一
般事業所に受け入れていた
だき、近年、就職者数が大
幅に増加してきています。

就職者数及び就職決定率、就職者割合の推移



※就職決定率：就職希望者のうち就職した者の割合を示します。就職者割合：全卒業生に対する就職者の割合を示します。

生徒たちの『働きたい』を応援してください

問い合わせ先：教育庁特別支援教育課 TEL018-860-5135

